

## < 第44回 東北農業経済学会新潟大会のご案内 >

東北農業経済学会第44回大会のご案内をいたします。今回の大会は、新潟大学（新潟市）において開催されることになりました。日程と主な内容は以下の通りですが、充実した大会になるよう会員の皆さんの積極的な参加を期待します。

日 時	2008年9月4日（木） 編集委員会、学会賞選考委員会、理事会 9月5日（金） 大会シンポジウム、会員総会、懇親会 9月6日（土） 個別報告
大会シボテーマ	「米過剰下の産地再編の展望と課題」
会 場	新潟大学農学部C198大講義室 〒950-2181 新潟市西区五十嵐二の町8050
大会実行委員会	
(代表)青柳 斉	tel/FAX : 025-262-6620 qingliu@agr.niigata-u.ac.jp
伊藤忠雄	tel/FAX : 025-262-6619 ito@agr.niigata-u.ac.jp
伊藤亮司	tel/FAX : 025-262-6618 sa-ito@agr.niigata-u.ac.jp

### [ 東北農業経済学会 第44回シンポジウム大会プログラム ]

日 時 :	2008年9月5日（金）	9 : 30 ~ 17 : 00
会 場 :	新潟大学農学部C198大講義室(1階)	
受 付		9 : 30 ~ 9 : 50

開会・会長挨拶	9 : 50 ~ 9 : 55
シンポジウム	
共通論題：米過剰下の産地再編の展望と課題	
座 長：小野雅之（神戸大）、青柳 斉（新潟大）	
座長問題提起	9 : 55 ~ 10 : 05
第1報告：米需給構造の変化と政策的課題	10 : 05 ~ 10 : 35
冬木勝仁（東北大）	
第2報告：東北における米産地再編の動向	10 : 35 ~ 11 : 05
小沢 互（山形大）	
第3報告：市場指向型の農協の米産地戦略	11 : 05 ~ 11 : 35
中村勝則（秋田県立大）	
第4報告：低米価時代の大規模水田経営の展開戦略	11 : 35 ~ 12 : 05
竹田香苗（農事組合法人大潟ナショナルカントリー）	
昼食・休憩	12 : 05 ~ 13 : 20
コメントとコメンテーター（コメントは 1人10分程度）	13 : 20 ~ 14 : 00
第1・2・3報告に対して：伊藤忠雄（新潟大）	
第1・3・4報告に対して：小池晴伴（酪農学園大）	
第2・4報告に対して：澤田 守（農研機構本部）	
コメントへの回答	14 : 00 ~ 14 : 40
休 憩	14 : 40 ~ 14 : 55
一般討論	14 : 55 ~ 16 : 40
座長まとめ	16 : 40 ~ 16 : 50
閉会・副会長挨拶	16 : 50 ~ 17 : 00
会員総会（シンポジウムに引き続き）	17 : 00 ~ 17 : 40

**【大会会場(新潟大学)のアクセス案内】**

アクセスマップ・キャンパスマップは下記のホームページを参照ください。

農学部：<http://www.agr.niigata-u.ac.jp/access/index.html>

新潟大学(五十嵐)：[http://www.niigata-u.ac.jp/gakugai/id/ikarashi\\_map.html](http://www.niigata-u.ac.jp/gakugai/id/ikarashi_map.html)

JR越後線の場合、新大駅前下車で徒歩15分、内野駅下車・タクシーで5分で大学に着きます。  
バスの場合、JR新潟駅前から大学(正門or中門)まで約50分かかります。

**【大会開催地の宿泊先について】**

宿泊先については、JRまたはバスで会場(大学)に来られる場合、JR新潟駅前周辺のホテルが便利です。新潟駅周辺にはホテルが密集していますが、下記のホテルが比較的安い料金です。(いずれも4千～6千円代です)

ホテルターミナルイン：025-245-1100

東横イン新潟駅前：025-241-1045

新潟東急イン：025-243-0109

新潟第一ホテル：025-243-1111

新潟ステーションホテル：025-243-5151

ホテルハイマート：025-243-3161

**【大会参加の申し込み案内】**

今大会では、シンポジウム参加費(報告要旨集代)2,000円、懇親会参加費4,000円となっております。

大会参加は当日でも受け付けますが、資料や会場、懇親会等の準備のため、**8月10日**までにEメールないしファックスで下記のアドレスないしFAX番号に申し込んでください。(FAXの場合は下段のFAX用紙を活用して下さい)

大会実行委員会代表 青柳 斉 宛

tel/FAX：025-262-6620 [qingliu@agr.niigata-u.ac.jp](mailto:qingliu@agr.niigata-u.ac.jp)

なお、参加希望者は、「大会シンポジウム」及び「懇親会」、「個別報告」のそれぞれに参加の有無を明示してください。代金は当日の受付で受領します。

**<大会参加申込みFAX用紙>**

氏名： \_\_\_\_\_

所属先： \_\_\_\_\_

連絡先の電話・メールアドレス：

tel： \_\_\_\_\_ Eメールアドレス： \_\_\_\_\_

参加希望の有無 \*以下に 印をつけてください

大会シンポジウム... 参加 ・ 不参加

懇親会 ... 参加 ・ 不参加

個別報告 ... 参加(報告申込み\*、会場出席のみ) ・ 不参加

\*報告申請者 報告テーマ名 \_\_\_\_\_

ポイントの希望 ... 使用・使用せず(どちらかに 印)

\*報告ファイルはUSBメモリで持参してください。

**【大会個別報告の募集】**

大会2日目(9月6日)の午前9時～13時頃まで個別論題報告が行われます。次の要領で

個別報告を募集しますので、多数の応募を期待いたします。

なお、集約された各個別報告のテーマ及び座長・報告時間等については、後日、学会ホームページにおいて掲載します。(報告時間20分、質疑5分の予定、変更有り)

(1)大会実行委員会への個別報告の申し込み

報告の論題(タイトル) 会員氏名 所属機関 パワーポイント使用の有無を明記して、  
**7月11日(金)までに**、下記宛のファックス\*またはメールで応募して下さい。

\*ファックスで申し込む場合は前頁のFAX用紙を活用して下さい。

〒950-2181 新潟市西区五十嵐二の町8050 新潟大学農学部

青柳 斉 tel/FAX : 025-262-6620 qingliu@agr.niigata-u.ac.jp

\* 応募締め切り期日の厳守をお願いします。

(2)報告要旨原稿の提出

個別報告の申込者は、「報告要旨」を**7月31日までに**下記の要領(\*)で提出して下さい。

< 個別報告要旨原稿の書き方及び提出方法 >

個別報告を申し込まれた方は、下記の要領で原稿を作成し提出してください。要旨集はオフセット印刷により作成されます。オフセット印刷とは、著者の原稿(A4版)をそのまま原版とし、本誌と同じ大きさ(B5版)に縮小して製版・印刷するものです。

(1)用紙

原稿は必ずA4版の用紙を使用し、ワードプロセッサで印字のうえ提出してください。個別報告の要旨は一題につき1枚(1344字)以内とします。

(2)文字の色と大きさ

印字の色は黒を使用してください。活字の大きさは10.5ポイントあるいはそれに準ずる大きさでお願いします。英文の場合も和文活字に準じた大きさでお願いします。(文字の大きさは必ずしも10.5ポイントでなくても結構ですが、その場合、後述のように、用紙の余白、1行文字数(42字)、1頁行数(36行)になるように調節してください。)

(3)本文の文字数と組版方式

用紙に印字される際には次の要領を必ず守ってください。

A4版用紙に横組で、余白を上18mm、下20mm、左右22mmずつとって、一行42字で36行(1512字、英文の場合450語)になるようにしてください。(この場合、1行は16.6cmの幅になり、36行は上下26.0cmになります。)

1枚目には論題、氏名、所属機関を印字してください。活字の大きさは、論題16ポイント、氏名と所属機関12ポイントでお願いします。1行あけて本文の印字をお願いします。(この分で通常の5行分に相当します。)

したがって、文字数は和文で1302字(1行42字で31行)であり、英文の場合は400語になります。

(4)原稿の提出方法

原稿の提出は、フロッピーディスクとプリントアウトしたもの

または Eメールの添付ファイル のいずれかをお願いいたします。

なお、原稿の提出の際、氏名・連絡場所の住所・電話、Eメールアドレスをお知らせ下さい。

(5)原稿の提出締め切りと提出先

原稿提出締め切り日 2008年7月31日(木)必着

原稿の提出先： 〒950-2181 新潟市西区五十嵐二の町8050

新潟大学農学部

青柳 斉 (tel/FAX : 025-262-6620 qingliu@agr.niigata-u.ac.jp)